

「第1期長与町子ども計画（素案）」に関するパブリックコメント（意見募集）実施の結果について

1. パブリックコメント（意見募集）の概要

題 名	第1期長与町子ども計画
募 集 期 間	令和8年1月28日（水）～ 2月13日（金）
閲 覧 方 法	○長与町ホームページでの周知・閲覧 ○長与の結婚・子育て応援サイト「大きくなーれ. プラス」での周知・閲覧 ○長与町役場子ども政策課窓口及び町内子育て支援センター・児童館での周知・閲覧
意見を提出できる方	○町内に在住、在勤、在学の方 ○町内に事業所等を有する個人及び法人その他の団体

2. 結果の概要

意見数	持 参	1人（1件）
	郵 送	0人（0件）
	F A X	0人（0件）
	メール	1人（1件）
	合 計	2人（2件）

3. 意見等に対する区分と集計

区分	意見等に対する結果	件数
A	意見等を踏まえ、政策等に反映するもの	0件
B	意見等の趣旨が既に政策等に反映されているもしくは一部反映されているもの	2件
C	今後の検討のために参考及び課題とするもの	0件
D	その他（変更等を伴わないもの、ご意見として受けるもの など）	0件
	合 計	2件

4. 意見等の内容及び町の考え方

No.	該当ページ	項目	ご意見及び理由等	ご意見に対する町の考え方	結果反映
1	P44 P44 P46 P68 P102	第4章 施策の展開 ＜基本目標1＞ ライフステージを通じた「こどもまんなかまちづくり」 2.遊びや体験活動の推進 3.食育の推進 ＜基本目標4＞ 大人へ移行する「青年期への支援」 第6章 計画の推進 上記項目全般に関して	<p>【意見】長与版・西の原モデルによる団地再生と、多世代共生型こどもカフェの創出について</p> <p>【ご意見の要旨】 長与ニュータウンや青葉台といった高台団地の空洞化を解決するため、1つの団地をテストケースに指定し、以下の施策を集中投入することをご提言いただきました。</p> <p>①波佐見町西の原をモデルとした拠点整備 ・団地内を空き店舗等を、デザイン性の高い空間へリノベーション ・若者がわざわざ行きたくなるオシャレな目的地を目指す ・町がギガ無制限の公共 Wi-Fi を完備し、学生が創作活動や自習に没頭できるデジタル環境を整備</p> <p>②若手起業家とシニア再雇用のハイブリッド運営 ・店舗運営を商売を志す若者のテスト店舗として開放 ・スタッフとして地域のシニア層を再雇用 ・こどもたちに親や先生以外の憧れの大人と出会える場を創出</p> <p>③おごりチケットと地域食材の活用 ・地元の大人や企業がこどもの飲食代を先払いする「おごりチケット制度」を導入</p>	<p>大変具体的で創造的なご提言をいただき、誠にありがとうございます。</p> <p>高台団地における少子高齢化や空洞化の課題、若者の定住促進は本町としても重要な課題と認識しており、波佐見町西の原の成功事例を参考にした多世代交流拠点の創出は、本計画が目指す「こども・若者が健やかに育ち、安心して子育てできるまちづくり」の実現に向けて、大変示唆に富む内容です。</p> <p>【計画への反映について】 いただいたご提案の趣旨を踏まえ、本計画において以下の視点を重視してまいります。</p> <p>●多世代が交流し、こどもが多様な大人と出会える場の創出 ●地域資源を活かした食育の推進 ●既存施設・資源の有効活用による新たな価値の創造</p> <p>本計画は「こども計画」として子育て支援を中心に据えたものですが、ご提案いただいた団地再生や若者定住促進の視点は、まちづくり全体の課題として、関係部署と連携しながら取り組んでまいります。</p> <p>貴重なご提案をいただき、改めて感謝申し上げます。</p>	B

		<ul style="list-style-type: none"> ・長与特産のオリーブやみかん等の地域食材を使ったメニューを提供 ・こどもが地域の質の高い食に触れ、大人から支えられている実感を持てる仕組みを構築 <p>④公共教育と癒やしの空間設計</p> <ul style="list-style-type: none"> ・店内を静かな大人エリアと賑やかなこどもエリアに分け、こどもが実社会のマナーを学ぶ教育の場とする ・全店舗で保護猫を飼育し、命の尊さを学ぶ情操教育と社会課題解決を両立 <p>⑤既存バス資源のシェアリングによるアクセス確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運行時間の空いているスイミングスクールのバスや幼稚園バスをシェアリング ・団地とカフェ、中心拠点を結ぶシャトルバスとして活用 <p>【提言の理由】</p> <p>若者が住みたいと思える憧れや、多世代が誇りを持って交流できる具体的な仕組みが必要。1箇所成功事例を作ることで、長与町全体のブランディングと定住意欲の向上に繋がる。</p>		
--	--	---	--	--

No.	該当ページ	項目	ご意見及び理由等	ご意見に対する町の考え方	結果反映
2	P64-67 関連	第4章 施策の展開 ＜基本目標3＞ 一人ひとりの可能性を ひらく「学童期・思春期」 への支援	<p>【意見】不登校支援の実効性向上について</p> <p>【ご意見の要旨】 こども基本法や文部科学省のCOCOLOプランの理念を踏まえ、不登校支援をより実効性のあるものとしていただきたい。</p> <p>①学習支援の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町の学習支援の場「いぶき」は自学・復習支援が中心で、学習を習い進める場としては不十分 ・学習面だけでなく、心の成長やコミュニケーション力を育む居場所としての機能強化が必要 <p>②経済的支援の必要性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フリースクール等を利用する場合、家庭が高額な費用を負担している ・義務教育期において、教育を受ける権利や学びの選択肢が家庭の経済力によって左右されることは課題 <p>③支援の在り方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・復学を前提とした声かけが子どもや保護者に大きなプレッシャーを与えている ・復学を前提とせず、子ども一人ひとりの安心と成長を軸に据えた支援が必要 ・「戻ること」よりも「ここにいていい」と感じられる環境づくりが大切 	<p>貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。</p> <p>不登校児童生徒への支援は本町としても重要な課題と認識しており、こども基本法の理念や文部科学省のCOCOLOプランの考え方を踏まえ、取り組みを進めてまいります。</p> <p>【計画への反映について】</p> <p>いただいたご意見の趣旨を踏まえ、本計画において以下の視点を重視してまいります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●子ども一人ひとりの状況に応じた多様な学びの場の確保 ●関係機関との連携による切れ目のない支援体制の構築 <p>今後も、こども・若者が安心して成長できる環境づくりに向けて、施策の充実に努めてまいります。</p> <p>貴重なご意見をいただき、改めて感謝申し上げます。</p>	B